

# SCOR-日本海洋学会 合同シンポジウム 「日本の海洋科学:現在と将来」

日時:2019年9月25日(水)13:30~17:10

場所:富山国際会議場 (<https://www.ticc.co.jp/>)



共催:日本学術会議地球惑星科学委員会SCOR分科会、  
日本海洋学会



後援:国立研究開発法人海洋研究開発機構、東京大学大気海洋研究所



## ◆ 開催趣旨

海洋研究科学委員会 (SCOR) は国際学術会議(ISC)の下で海洋科学に関する様々な研究活動をサポートする国際機関であり、今年の年会(9月23日~25日)が富山で海洋学会(9月25日~29日)の直前に開かれます。この機会を利用し、SCOR国内委員会と海洋学会との共催で半日のシンポジウムを9月25日に開催することとなりました。このシンポジウムでは、加盟各国のSCOR委員等に日本の海洋科学の現状と成果を、また海洋学会員にSCORの活動や日本との関係を紹介し、SCORと海洋学会との連携を強化することを目的としています。

## ◆ プログラム

(全て英語での  
講演となります)

- 13:30-13:40 開会あいさつ  
張 勁(SCOR 副議長/富山大学)  
神田 稔太(日本海洋学会会長/東京海洋大学)
- 13:40-14:00 “SCORと日本”  
山形 俊男(日本学術会議地球惑星科学委員会SCOR分科会委員長/  
海洋研究開発機構)
- 14:00-14:20 “日本の海洋研究機関の概要”  
神田 稔太(日本海洋学会会長/東京海洋大学)
- 14:20-14:30 Q&A
- < SCOR プログラムと日本の研究活動 >
- 14:30-14:50 “2009 - 2018年にかけてのGEOTRACES-Japanの活動”  
小畑 元(東京大学)
- 14:50-15:10 “南・東アジアの縁辺海における持続可能なイニシアチブに向けた  
研究開発”  
森岡 優志(海洋研究開発機構)
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20-15:40 “IIOE-2: インド洋の分野横断的研究への挑戦”  
升本 順夫(東京大学)
- < SCORワーキンググループと日本の研究活動 >
- 15:40-16:00 “SCOR/IAPSO/IAPWS海水特性合同委員会(JCS)での日本の取組み”  
内田 裕(J海洋研究開発機構)
- 16:00-16:20 “世界の栄養塩濃度の比較可能性:過去、現在そして未来”  
青山 道夫(筑波大学)
- 16:20-16:40 “グローバル生物/生態系観測網の構築と調和に向けてSCOR WGが  
果たしてきた役割”  
千葉 早苗(海洋研究開発機構)
- 16:40-16:50 “SCORからの展望と期待”  
Marie-Alexandrine Sicre (SCOR議長)
- 16:50-17:00 閉会あいさつ  
蒲生俊敬(東京大学)